

橋梁景観に関する意識調査

信州大学大学院 学生員 ○山田 正志
信州大学工学部 正会員 清水 茂

1. はじめに

人々の脳裏に印象深く残っている橋には、魅力があふれる、思い出があるなど何か特別な要素を持っているものが多いと思われる。本研究は、人々の印象に残っている橋を調べることで、人々の橋梁に対する考えや思いを述べるものである。

橋梁景観設計を行う者にとって、人々の橋梁に対する考えや思いを理解することは、人に望まれる橋、好まれる橋など「良い橋」を創造していく上で、もっとも重要なことのひとつだと思われる。

このようなことから本研究では、人々の印象に残っている橋を知るために、アンケート調査を実施した。

2. アンケート

アンケートは、以下の項目順に行った。

- ①インスピレーションで橋を思い浮かべてもらう。この項目から被験者は、過去の経験において脳裏にもっとも印象強く残っている橋の情景を思い浮かべるとされる¹⁾。
- ②その橋が思い浮かんだ理由を伺う。自由で率直な回答をしていただくために、多肢選択式などではなく自由回答、また複数回答可とし、口頭で答えるものとする。「思い浮かべた理由」は「美しい」や「なじみ深い」など様々なものが想像され、人々が望む橋、好む橋などの要素を多く含むと思われる。
- ③橋名、橋種、大きさ、利用頻度などの詳細とその橋の（暖かさ）、（柔らかさ）²⁾、（美感性）、（好感度）といったイメージを伺う。この項目から思い浮かべた橋がどのようなものかを知ることができる。橋の詳細については多肢選択式、（暖かさ）、（柔らかさ）、（美感性）、（好感度）については、それぞれ5段階評価とする。
- ④橋梁に対する意見要望を伺う。

なお、本研究では、アンケートを一般市民200名に依頼し、その中で81名の有効回答を得ることができた。また、アンケート方法を②、④項目の性質上、面接調査法とした。

3. 思い浮かべた理由

本稿では、紙面の都合上、「思い浮かべた理由」についてのみ述べる。図3に思い浮かべた理由の集計を示す（図1中の $X_{1\sim 29}$ は表1参照）。アンケートでは自由回答かつ複数回答可としたため、思い浮かべた理由は29となった。

表1から、好印象の理由が大多数を占めている。このことから、人々の脳裏には好印象の橋梁が印象深く焼き付いていることがいえる。

図1から「印象的」、「美しい」という景観的な理由が1、2位であった。このことから、橋梁景観設計は重要であることがいえる。また、3、4、6位にはそれぞれ「思い出がある」、「なじみ深い」、「身近」となり、親近感を理由に橋を思い浮かべている人も多い。

表1のそれぞれの思い浮かべた理由は、橋梁景観を考える上で、非常に重要な事柄になると思われる。

4. 主成分分析

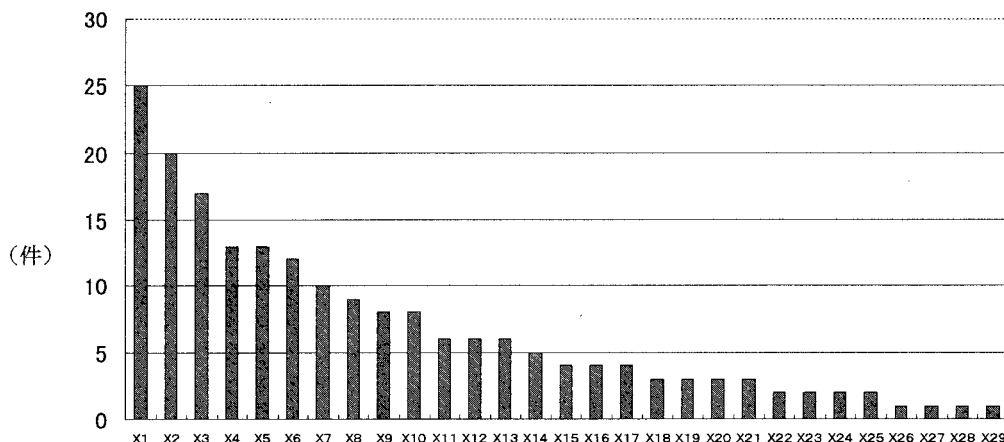


図1 思い浮かべた理由

「思い浮かべた理由」に対し主成分分析を行った。その第一主成分は以下になった。

$$Z_1 = -0.399X_1 - 0.072X_2 + 0.324X_3 + 0.571X_4 + 0.458X_5 - 0.176X_6 - 0.040X_7 - 0.131X_8 + \dots$$

式中の X_1 (印象的)、 X_2 (美しい) …に、ある被験者の思い浮かべた理由のものに1、そうでないものに0を代入することによって、その被験者の主成分得点が得られる。

この式の各項の係数を正負に分けて分析する。負の係数のものは、 X_1 (印象的)、 X_6 (大きい) X_8 (めずらしい) など、インパクトを表す理由であった。また、正の係数のものは、 X_4 (思い出がある)、 X_5 (なじみ深い)、 X_3 (趣がある) など、安心感を表す理由であった。このことから、人々の印象に残っている橋は、おおむね、インパクトによるものと、安心感によるものに大別されることがわかる。

5. まとめ

本稿で、人々の脳裏に焼き付いている橋について、その理由を網羅することができた。思いついた理由は、「良い橋」や「悪い橋」などさまざまな橋梁に対する人々の思いや考えを反映している。それら個々の理由について考えてゆくことが、「人に好まれる橋」をつくることにつながると思われる。

また、人々の脳裏に焼き付いている橋には、インパクトによるものと、安心感によるものの、おおむね2タイプあることがわかった。橋梁景観設計の計画時において、インパクトを感じさせるもの、安心感を与えられるもののどちらにするかを明確にすることが重要であると思われる。しかし、安心感を与えられるような橋梁の傾向については明らかになっておらず、今後は、その傾向について明らかにすることが課題である。

なお、紙面の都合上、本稿では、2節の②インスピレーションで思い浮かべた橋のその理由についてのみ紹介した。当日は、③、④についても考察し、「人に好まれる橋」「人に嫌われる橋」などの傾向を発表する。

参考文献

- 1) 守 一雄：認知心理学 岩波書店 1995.4
- 2) 小林重順：カラーリスト 一色彩心理ハンドブッカー 講談社 1997.3

表1 図1の $X_1 \sim X_{29}$

思い浮かべた理由	
印象的	X_1
美しい	X_2
趣がある	X_3
思い出がある	X_4
なじみ深い	X_5
大きい(広い)	X_6
身近	X_7
めずらしい	X_8
便利	X_9
周辺との調和	X_{10}
地域の誇り	X_{11}
特徴がある	X_{12}
歴史的背景	X_{13}
悪印象	X_{14}
最近利用した	X_{15}
材質がよい	X_{16}
高欄に印象がある	X_{17}
ライトアップが美しい	X_{18}
色が好き	X_{19}
頑丈な感じ	X_{20}
瀟洒な感じがする	X_{21}
想像	X_{22}
典型的な形	X_{23}
歩道の整備状況がよい	X_{24}
力の流れがよくわかる	X_{25}
テレビなどで見た	X_{26}
橋の造りに疑問を感じた	X_{27}
旧橋とのギャップ	X_{28}
機能的でない	X_{29}